

平成29年度 第3回 奈良県がん対策推進協議会 議事要旨

1. 日 時：平成30年3月14日（水） 13：30～15：50

2. 場 所：奈良県経済倶楽部 経済会館 5階大会議室

3. 出席者：長谷川会長 他 12名

4. 議事内容

- (1) 平成29年度の取組実績及び平成30年度の計画（案）について（部会報告）
- (2) 第3期奈良県がん対策推進計画の策定について

パブリックコメントの意見及び各部会等での議論を反映した「第3期奈良県がん対策推進計画」の最終案を提示。全会一致で承認を得る。

■委員からの主な意見等

- (1) 平成29年度の取組実績及び平成30年度の計画（案）について（部会報告）
 - ・たばこ対策は、吸わない側の権利の主張だけでいいのかと言う気がするが、吸う人の権利ということではどう考えたらいいのか。
→たばこ対策には2つの立場がある。ひとつは健康という観点でいうと、みんなにやめてほしい。2つめは、自由を尊重すると、吸う権利はあるが、吸わない権利もあるので吸う人には受動喫煙を守ってほしい。また、喫煙は依存症であるので、本人の意思でなくても吸ってしまうということもある。
 - ・大学の敷地内禁煙は進まない。違法ではないので権利はある。たばこを吸い始める学生を防止する地道な努力必要。
 - ・がん検診は精度管理が重要。受診者の精密検査の結果をきっちり管理する必要があるので、今後がん登録で把握できればいい。
→市町村の検診とがん登録データを活用していくことになる。活用のために審議会を立ち上げる予定。
 - ・肝がん医療費助成の事業の名称が研究事業になっているのは違和感があるが。
→国の助成の一環である。助成には高額だから助成するという福祉の視点とある個別の病気ということをとらえて助成する支援があるが、この場合は后者であり、国はその場合、個別の病気の治療の今後に活かすということで研究事業という名称を使う。
 - ・連携パスは使いにくいという声があったが、病診、病病連携のためにも良いものを作ってほしい。→分科会でしっかりやってもらう。
 - ・ピース研修会もこれから変わっていく。拠点以外の医師やコメディカルにも提供していく。
 - ・相談支援センターは利用促進と相談員のステップアップ必要。今後も相談支援センターの周知をお願いしたい。
 - ・がん教育について、県立だけしか実施しないのか。当面公立であるが、公立もスケジュール的にどの程度盛り込めるかと言うところ。

- がん教育の講師は誰がやるのか。がん教育の先駆的な鹿児島のNPOを呼ばれて講演をされていたが、県内の患者会も体験発表はできるが、命の授業の講師となるとできかねる。→外部の講師は検討していくが、それよりも学校のカリキュラムが厳しく、どこに盛り込むかの方が難しい問題。

(2) 第3期奈良県がん対策推進計画の策定について

- 第1期から関わっているが、3期計画は比べものにならない良い計画となった。
- PDCAをまわして作り上げた全国的にも先進的な計画になったのではないかと感じる。
- 2期計画の最終目標も達成でき、県のがん対策が進んだと感銘を受けた。
- 計画策定に関わった者として、今後は医療分野で貢献していきたい。
- 計画をたてて実行する重みを感じている。
- 県がこれからやるがん対策を、他のがん患者やサポーターに伝えていく。
- 歯科医師会として、今後は県民に口腔ケアの重要性を発信していきたい。
- 用語解説はとてうれしいしやさしいと思う。